

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地域ビジネス特講Ⅱ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

人々が働く(就職・就労する)上での「形態」と「組織」には多様な選択肢がある。この授業では、「働く形態」と「働く組織」について、具体的な事例を交えて理論的かつ実践的に学ぶ。「働く形態」として、多様な企業の業種と職種、自営業、法人、起業家、公務員のそれぞれの特徴を学ぶ。「働く組織」として、大企業と中小企業、NPO法人、公益法人等、経済団体、国、自治体のそれぞれの特徴を学ぶ。社会には、多様な「働く形態」と「働く組織」があることを理解して、具体的なイメージを持つことで適切な進路選択や実践の一助とする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	実践的な学習に重点を置いて、具体的な活動事例、日々の時事問題や雑学、受講者の問題意識やニーズに関連した事柄などについて積極的に取り上げて、知識・ノウハウを深める。事例学習は各回必要に応じて行う。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方等、多様な「働く形態」と多様な「働く組織」	<input type="checkbox"/>
第2回	働く形態1: 企業の業種・業界	企業にはどのような業種・業界(卸小売・飲食・サービス業、製造・建設業、情報通信・運輸業、金融・保険・不動産業、農林漁業など)があるのか	<input type="checkbox"/>
第3回	働く形態2: 企業の職種・職業	企業ではどのような職種・職業(事務、営業・販売・サービス、モノづくり、管理、専門・技術、輸送・機械運転、建設・採掘、運搬・清掃・包装、保安・警備、農林漁業など)があるのか	<input type="checkbox"/>
第4回	働く形態3: 自営業・個人事業主	一人や家族や小規模の経営(個人商店、旅館、農家・漁師、個人タクシー、土業、診療所、建築家、芸術家、作家、写真家、歌手、漫画家、翻訳家、プロ選手など)にはどのようなものがあるか	<input type="checkbox"/>
第5回	働く形態4: 法人	株式会社やNPO法人などの「法人」と何か、法人になる長所・短所と設立要件は何か	<input type="checkbox"/>
第6回	働く形態5: 起業家	新しく事業を起こす起業家、ベンチャービジネスの意義とあり方	<input type="checkbox"/>
第7回	働く形態6: 公務員	国の国家公務員、自治体の地方公務員の種類や仕組み	<input type="checkbox"/>
第8回	前半授業の振り返りと掘り下げ	授業と参考文献等での学びの振り返りと掘り下げ、ミニレポートでの質問・意見への回答コメント	<input type="checkbox"/>
第9回	働く組織1: 大企業と中小企業	大企業と中小企業のそれぞれの特徴と違い、長所・短所	<input type="checkbox"/>
第10回	働く組織2: NPO法人	NPO法人(特定非営利活動法人)の特徴、企業や行政との違い	<input type="checkbox"/>
第11回	働く組織3: 公益法人等	公益社団法人、公益財団法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、独立行政法人、生活協同組合、等の特徴	<input type="checkbox"/>
第12回	働く組織4: 経済団体	日本経済団体連合会、商工会議所・商工会、経済同友会、中小企業家同友会、農協、漁協、業種別経済団体等の特徴	<input type="checkbox"/>
第13回	働く組織5: 国	国の行政機関(内閣官房、内閣府、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、警察庁など)の仕組み	<input type="checkbox"/>
第14回	働く組織6: 自治体	自治体・地方公共団体(都道府県・市町村・特別区等)の仕組み	<input type="checkbox"/>
第15回	後半授業の振り返りと掘り下げ	授業と参考文献等での学びの振り返りと掘り下げ、ミニレポートでの質問・意見への回答コメント	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき(2時間程度)、事後に授業での学びと参考文献等での学びを整理すること(2時間程度)。授業

中にしっかりとメモ（ノート）を取った上で、学んだことを自身の言葉でしっかり整理すること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから、自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めること。自身で調べても分からない疑問等は、積極的に教員に質問・意見等を行うこと。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業で質問や意見等をミニレポートとして積極的に出してもらい、次回以降に回答等をフィードバックする。質問や意見等は授業中の他、研究室等で柔軟に受け付ける。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	人々が働く上での「形態」と「組織」を理論的かつ実践的に理解・説明できる。
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	社会には多様な「働く形態」と「働く組織」があることを理解して具体的なイメージを持つことができる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中レポート

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。必要に応じて講義時に資料プリントを配布する。	
2		
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	
2		
3		
4		
5		